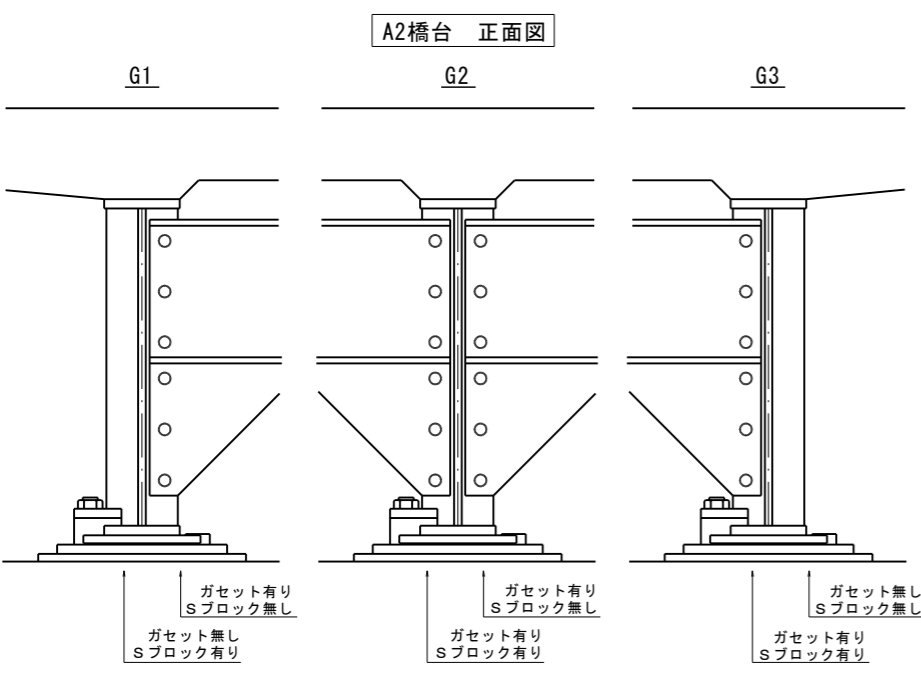
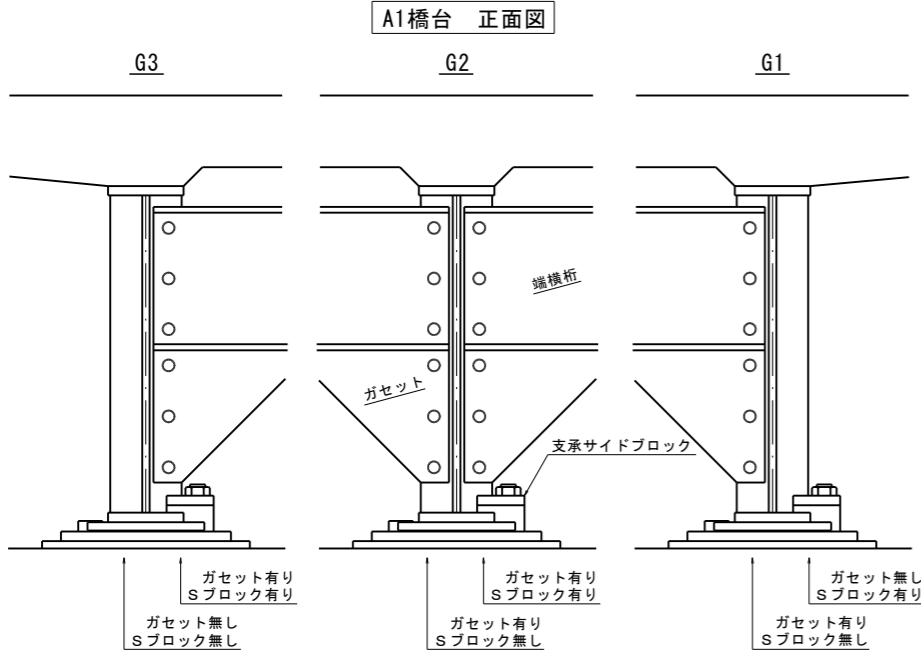


当て板補修詳細図

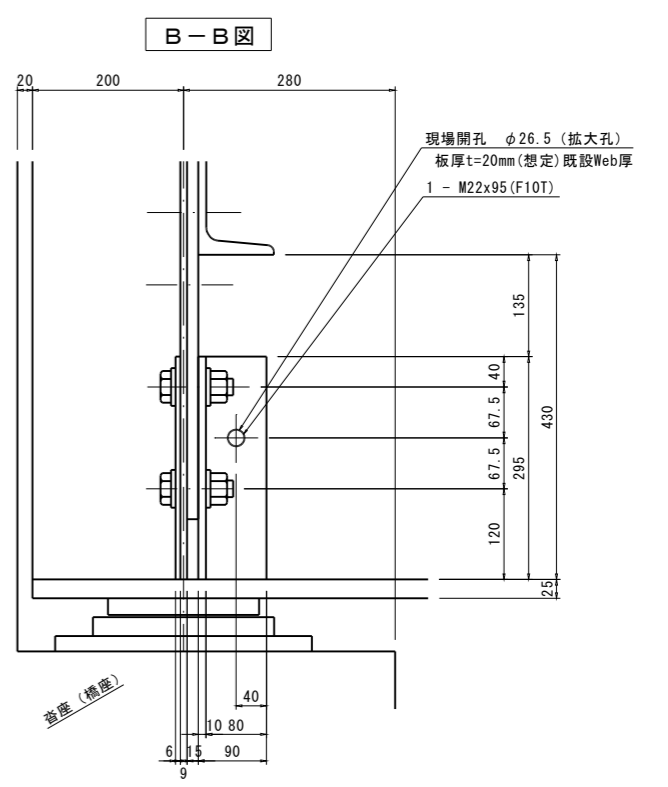
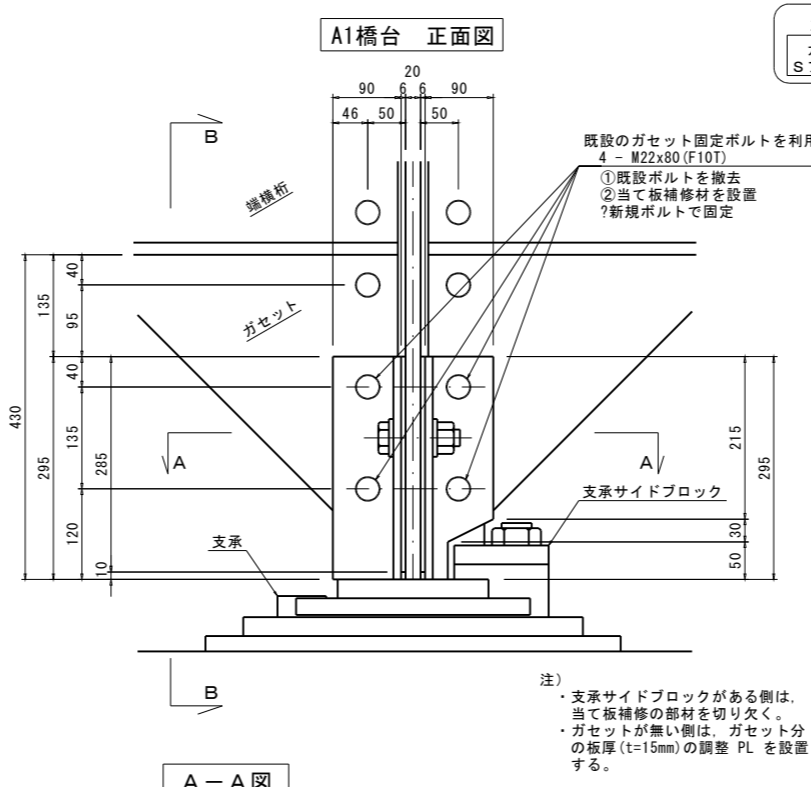
当て板補修部材図 S = 1:10

A1 - 3箇所
A2 - 3箇所 合計 6箇所
構造パターンは、主桁の向かってみぎひだり、ガセット及び支承サイドブロックの有無により以下のパターンとなる。



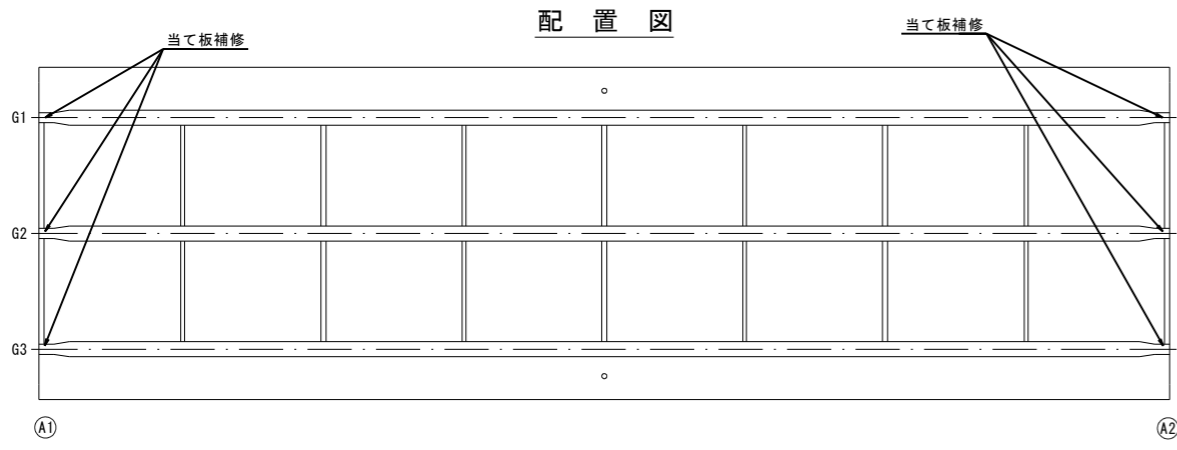
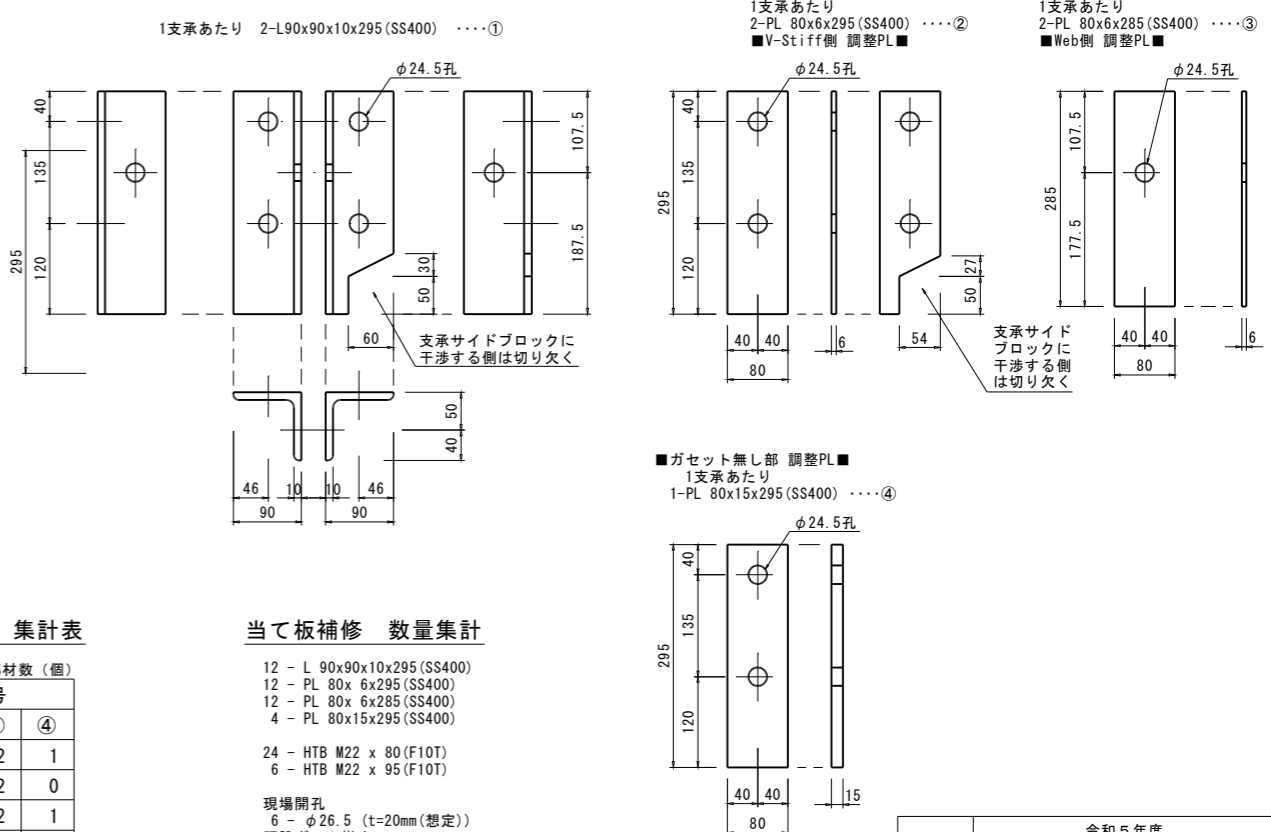
当て板補修詳細図 S = 1:5

図は、A1橋台G2桁を示す。



当て板材料加工図

代表図 A1-G2 1支承あたり



当て板材料 部材数 集計表

	部材番号	部材数 (個)			
		①	②	③	④
A1	G1	2	2	2	1
	G2	2	2	2	0
	G3	2	2	2	1
A2	G1	2	2	2	1
	G2	2	2	2	0
	G3	2	2	2	1
合計		12	12	12	4

* 部材の切り欠きは、詳細図をもとに箇所ごとに決定すること

当て板補修 数量集計

- 12 - L 90x90x10x295 (SS400)
- 12 - PL 80x 6x295 (SS400)
- 12 - PL 80x 6x285 (SS400)
- 4 - PL 80x15x295 (SS400)
- 24 - HTB M22 x 80 (F10T)
- 6 - HTB M22 x 95 (F10T)
- 現場開孔
6 - φ26.5 (t=20mm (想定))
既設ボルト撤去
24 本 (M22)

* 腐食による断面欠損部は金属パテにより埋めるものとする。

工事名	令和5年度 東町・西山線 (三井橋) 橋梁補修詳細設計業務委託 那須町大字湯本東町地内
図面名	当て板補修詳細図
作成年月日	令和6年2月29日
縮尺	図示 図面番号 /
会社名	株式会社 富貴沢建設コンサルタンツ
事務所名	栃木県 那須町